

中山間地、集落維持の困難と浮き彫り

後継者不足、深刻化……上越市が実態調査結果公表

上越市はこのほど「中山間地域における集落の実態調査」の結果（速報）を公表しました。後継者が同居している世帯はわずか26%しかなく、今後、集落を維持していくうえで大きな困難を抱えていることが明らかになりました。

後継者（子ども）の状況

			該当世帯数	構成比	
① 現在の集落の総世帯数			1,763世帯	—	
内 訳	② 後継者（55歳以下）が同居している世帯		461世帯	26.2%	
	③ 後継者がいるが、同居していない世帯		947世帯	53.7%	
	内 訳	後継者は市内に居住		(554世帯)	(58.5%)
		新潟県内に居住		(153世帯)	(16.2%)
		県外に居住		(240世帯)	(25.3%)
④ 後継者がいない世帯		355世帯	20.1%		

後継者が同居していない世帯の状況（上記③の内訳）

	該当世帯数 (n=947)	構成比
今後、後継者が同居（帰郷）する又はその可能性がある	57世帯	6.0%
将来は、後継者の居住地へ転居する又はその可能性がある	214世帯	22.6%
後継者はいるが、このまま現在地に住み続けたい	676世帯	71.4%

今回の調査は市内の中山間地域（農林業センサスの農業地域類型区分による中間農業地域又は山間農業地域）における高齢化が進んでいる集落を対象に実施した。65歳以上の住民の数が50%以上を占める集落（70集落）全部と60歳以上の住民の数が50%以上を占める集落の中から30集落を抽出し、合計100集落を対象に調査を進めました。調査項目は「集落の概況」「農業生産活動」「集落の維持」など5項目です。

調査対象となった全集落の総世帯数は1763世帯ですが、このうち高齢者のみの世帯は、850世帯（48.2%）にもなります。また、今後、集落を離れる見通しの世帯は301世帯（17.1%）にも上ることが明らかになりました。

今後の集落維持の見通しについては、「このまま維持が可能」は8集落で、「当分の間（5年〜10年程度）は維持が可能」は73集落、「維持は難しい」は18集落という結果でした。

集落の維持に関して、集落の代表者などの皆さんが「大いに不安」を感じていることのトップは、「後継者が少ないこと」（全集落の60%）です。次いで、「田畑や山林の維持」（45%）、三番目は「働く場が少ない」（31%）でした。

集落の再編についても調査結果が出ました。「このまま集落を維持」が40集落で、「すぐに集落の再編が必要」が3集落、「将来的に集落の再編が必要」が21集落で、集落再編を考えているところがかなりあります。ただ、「集落の再編は必要だが困難」とする集落数は28



吉川小学校3年のHさんが私の似顔絵を描いてくれました。顔が大きくてはげたおじさんだけど、描いてもらえそう。よく特徴をつかんで描いてくれたね。うまい！100点！

もあり、簡単には進められないことも明らかになりました。

発表された数値は速報値で、今後動く可能性ががあります。最終的な調査結果は8月下旬に取りまとめ公表する予定とのことです。

今回の調査は上越市が取り組む調査としては二度目。現在、市議会の中山間地域対策特別委員会が進めている「中山間地域対策基本条例」「中山間地域支援条例」（いずれも仮称）づくりに影響を与えそうです。（裏面に調査対象となった集落名一覧表があります）

シリーズ 上越市内の橋

第44回 小峰橋



「小峰橋」と書いて「こみねはし」と読みます。春日山城近くの正善寺川にかかった橋です。写真の左に白く見える地藏尊は石原地蔵尊です。上杉謙信の時代から小峰原の一角にあったのですが、北陸自動車道の工事に伴い、この橋のたもとに移しました。

橋長は約21メートル。竣工は1969年（昭和44年）の3月です。

春よ来い

第一一七回 バリさん

七年前に開催された第二回大地の芸術祭の時のことです。私は友人と二人で十日町市松代の商店街を訪れました。芸術祭の舞台は津南町を含む広大な地域なのですが、第一回の時に訪問した時の、商店街の人たちとの楽しい会話が忘れられず、まよわずその作品群を観に出かけたのでした。

一緒に出かけた友人はバリさん。青年団時代から走ろう会の仲間として付き合ってきた人です。バリさんは、前年の暮れに小脳からの出血で倒れ、病院に数ヶ月入院。その時は通院、リハビリの毎日を送っていました。バリさんのお連れ合いに「今度、バリさんと一緒に『大地の芸術祭』に行つてこようと思うんだけど、どうだろう」と言いましたら、「助かるわ、連れてつて」と快い返事をもらっていました。

その日は、幸い、午前に雨が上がったので、午後から軽トララックに乗って出かけました。ほくほく線まつだいい駅に着いたのが午後一時ちょっと前。駐車場に車を置き、そこから歩いて商店街に展示されている作品を観て回ることになりました。バリさんは軽トラに積んできた最新式の歩行器を使って歩きました。段差がない所を目でさがしながら、ゆっくり、ゆっくりと。

「新しい病院は、俺みたいなものを考え、段差はないね。それに平らだしさ」。バリさんは歩き始めてすぐそう言いました。一緒に歩いてみて、私が思い描いていた以上に歩くことがたいへんだということがわかりました。車が来ないか。前に障害物がないか。道は上っているか、それとも下りか。平らか、それとも斜めか。こういうことを総合的に判断し、前に進まなければならないのです。

幸い、商店街は車の通りも少なく、作品を鑑賞するには好条件でした。興味深く観たのは、吉川中学校で美術教師をしたことのある前山忠さんの「視界」、土壁のやわらかさと温かさを生かした村木薫さんの「修景プロジェクト」、外米輸入を皮肉つた「アメリカ米万歳」、大阪教育大学・星ゼミの「饒舌な金物店」。やはり、知っている人の作品や日常生活に密着している作品は身近に感じるし、親しみが持てます。

バリさんは、思った以上に元気でした。ある民家の庭先にたくさんの花が咲いているので、「これ、マツボタンだったっけ」と聞いたら、「こういう時には人に聞かずにかざる」と言つて、そばを歩いていた若い女性たちに、「ねえ、これ、マツボタンだよね」。また、雪の写真を展示してあるお店では、「雪肌」という素敵な写真が気に入って、「これって、どう見ても女の人の尻に見えるなあ」と言つて笑います。病気を出す前とまるつきり同じでした。

ある小間物屋さんの前のベンチに座って休んでいたら、お店の奥さんが「あんたがた、どこからきなさったね」と声をかけてきました。第一回の時には、八〇歳近い女性が気品あふれる態度で作品解説をしてくださり、感動した記憶があります。この時は、小間物屋さんの奥さんから松代の商店街の面白さを教えていただきました。とにかく、自分の住んでいる町に誇りを持っている、それがとても印象に残りました。

この日は、たっぷり二時間、作品を観たり、おしゃべりしたりして歩き回りました。商店街の端の方へ行った時、「ここで待ってるかい、車持ってくるし」と言つたら、「いや、駅まで俺も歩く」。とうとう全部を歩ききました。

バリさんとはしばらく一緒に出かけていません。先日、松代へ出かけた時、七年前のことを思い出しました。バリさん、また出かけようよ。

参院選結果…上越市 選挙区で前進するも比例区で後退

先の参院選結果です。

日本共産党は上越市では、新潟選挙区で武田候補が5933票（得票率5.89%）を獲得、3年前よりも得票数で1811票、得票率で2.16%伸ばしました。その一方、比例区では4308票にとどまり、得票数で329票、得票率で0.03%減りました。

今後は消費税増税反対など公約実現のために頑張つてまいります。

消防救助技術訓練視察

去る5日、上越地域消防事務組合



の消防救助技術訓練を初めて視察。きびきび

した動きが印象に残りました。

区域名	調査を実施した集落名	
	65歳以上の住民の数が50%以上を占める集落	60歳以上の住民の数が50%以上を占める集落
合併前の上越市	宇津尾、上綱子、中ノ俣、横畑、皆口、北谷	西山寺、増沢
安塚区	行野、菅沼、朴ノ木、信濃坂、真萩平、伏野、上船	坊金、細野、芹田、小黒、切越
浦川原区	上柿野、杉坪、岩室、谷、真光寺、坪野、上猪子田、小麦平	横住、法定寺、追出
大島区	菖蒲東、牛ヶ鼻、西沢、三竹沢、石橋、下岡、田麦、藤尾	菖蒲西、大島、板山
牧区	雨露、高尾、切光、今清水、片町、七森、平山、神谷、吉坪、高谷	棚広新田、宇津俣、池舟、川井沢
柿崎区	坂田新田、雁海、猿毛、城腰、水野、下牧、東横山、南黒岩、北黒岩	下中山、芋島、平沢、小萱
吉川区	上川谷、下川谷、石谷、名木山、高沢入、坪野、尾神、東寺、後生寺、東鳥越	大賀、川袋、平等寺
中郷区	五反田、宮野原	片貝
板倉区	機織、柄山、猿供養寺、東山寺、西久々野	—
清里区	青柳、梨窪	寺脇、赤池
名立区	濁沢、折居、峠	坪山、森、西蒲生田